



【主催者企画のご案内】

～環境とエネルギーの未来を拓く～
“水素社会”

2015年 5月
日本経済新聞社

日本経済新聞社は、産業環境管理協会との共催で、日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ」を東京ビッグサイトで開催しています。今年で17回となる本展は、会期3日間で16万人を超える来場者を動員し、環境保護の普及・啓発、環境ビジネスの場として、広く認知されています。

近年、環境と関係性の高いエネルギー、とりわけ再生利用可能エネルギーなど新エネルギーの取り組みを紹介する出展者が増えていることを背景に、昨年から本展のビジネスエリア内に、新企画ゾーン「エネルギーイノベーション」を立ち上げました。

また、トヨタ自動車燃料電池車の出展および乗車体験を行ったのをはじめ、出展社の水素関連技術の紹介があり、本展においても“水素”への来場者の関心が一気に高まりました。舛添東京都知事が“水素社会”を2020年東京五輪のレガシーにすることを表明するなど、国・自治体あげた水素社会に向けた活発な活動は、「2015年は水素元年」とも呼ばれ、日本経済新聞紙面においても関連記事の露出が増えています。

このことを踏まえ、一般市民に、エネルギー源としての水素への理解を促すとともに、水素関連産業の育成・振興を目的に、今年のエコプロダクツ展では「水素社会」（仮称）企画を設け、環境とエネルギーの未来を探ります。

貴社の取り組みの紹介、来場者とのコミュニケーション、ブランディングや商談機会創出の場として、ぜひご活用くださいますよう、よろしく願い申し上げます。

エコプロダクツ展は、日本最大級の環境展示会として今年で17回目の開催を迎えます。約700社・団体が出展し、会期3日間で16万人が来場します。環境保護の普及・啓発、環境ビジネスの場として、広く認知されています。

◎開催目的

「地球温暖化の緩和と適応」に向け、最先端の技術と知恵を結集。環境を軸に持続可能な社会の実現を目指しています。

◎出展層

日本最大級の環境展示会として、中小企業からグローバル企業まで多様な企業約700社・団体が出展。消費財や生産財、エネルギー、各種サービスまで、あらゆる分野にわたる最先端の環境製品・技術が集結します。また、自社や業界の環境への取り組み（CSR活動）を紹介するなど環境コミュニケーションの場としても活用されています。

◎来場層

ビジネスパーソンから生活者、環境学習を目的とした子どもたちまで様々なステークホルダー約16万人が来場します。日本から世界へ、そして未来へよりよい社会づくりに向けた情報発信を行っています。

開催概要

会期：2015年12月10日（木）、11日（金）、12日（土）の3日間

会場：東京ビッグサイト・東ホール

主催：（一社）産業環境管理協会、日本経済新聞社

後援：経済産業省、環境省、文部科学省、国土交通省、厚生労働省ほか（申請予定）

なぜ、エコプロダクツ展で「水素社会」なのか？

★Point 1 2013年からエネルギー企画を実施、前は「水素」関連の情報発信

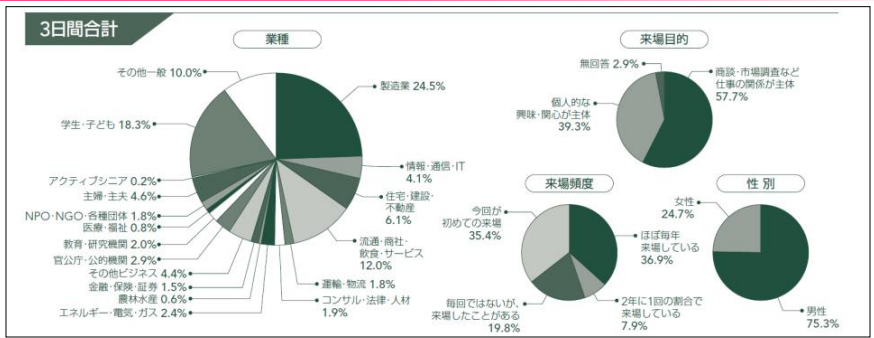
本展では2013年より、再生可能エネルギーなど低炭素・分散型エネルギーの最新動向や関連技術を、展示と専門セミナーで幅広く紹介しています。水素はエネルギー源にとどまらず、環境負荷低減への貢献も期待されることから、昨年は「水素時代の幕開け、2020年に向けたエネルギー新時代」と題したセミナーを開催、新型燃料電池自動車「MIRAI」など、水素関連技術を紹介した出展ブースが登場しはじめました。

エコプロダクツ展では引き続き「水素」に注目し、環境に感度が高い本展来場者に対して、官民をあげた「水素社会」に向けた現状と将来像を紹介することは大変意義があり、かつ、彼らが普及啓蒙の先導役を果たしてくれることを期待し、企画しました。

★Point 2 多様な層が約16万人来場

水素社会への理解と普及啓蒙には、産業界・行政のみならず、一般市民の理解と認知が必要です。本展は日本最大級の環境展示会としてビジネスパーソンから生活者まで多様な層16万人が来場。製品・サービスの販路拡大、ブランディングに最適です。

昨年の来場者アンケートより



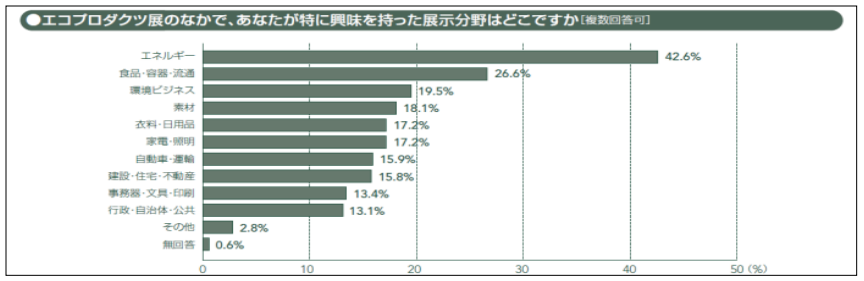
★Point 3 「エネルギー」に関心の高い来場者が多数

昨年の来場者アンケートより

エネルギーは昨年の来場者アンケートの「興味をもった展示分野」で最多回答を得ました。来場目的別にみても「仕事の関係が主体」「個人的な関心が主体」とともに第1位という結果でした。

■来場目的別集計

- 【仕事の関係が主体】……①エネルギー(42.7%) ②環境ビジネス(23.8%) ③素材(22.4%) ④建設・住宅・不動産(19.7%) ⑤自動車・運輸(18.6%)
- 【個人的な関心が主体】……①エネルギー(42.9%) ②食品・容器・流通(33.2%) ③衣料・日用品(24.1%) ④家電・照明(20.4%) ⑤事務機・文具・印刷(16.3%)

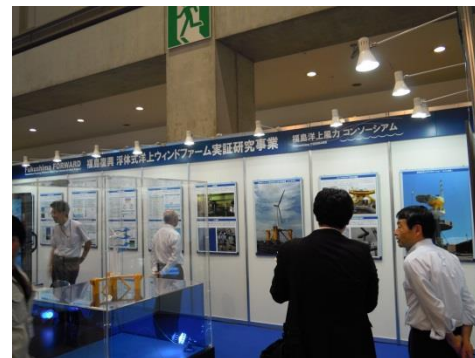


①主催者によるパネル展示

水素社会の基礎知識をパネル展示で紹介します。
一般からビジネスパーソンまで、だれにでもわかりやすい内容とします。

＜内容案＞

- ・水素とは？
- ・究極のクリーンエネルギー
- ・東京五輪と水素社会
- ・水素社会でわれわれの生活はどうかわる？ ほか



②関連企業・自治体の展示

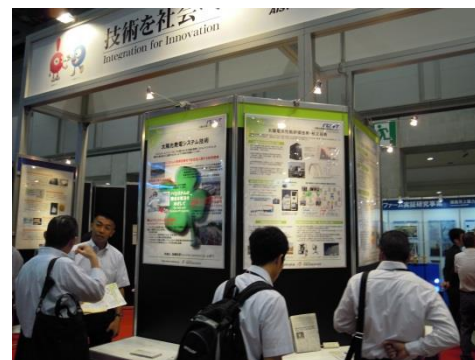
■水素エネルギーサプライチェーン

- 製造プラント・装置、製造機器、関連技術・素材
- 輸送 <積載船・車両、移動式タンク>
- 貯蔵 <タンク、配管>
- 供給 <水素ステーション、水素ディスペンサ>

■産業用水素発電システム

■燃料電池車（FCV）、家庭用燃料電池

■自治体の水素社会への取り組み



③セミナー・シンポジウム開催

エコプロダクツ2015会場内または会議棟会議室を使い、水素社会、水素関連技術、東京五輪と水素などをテーマに、セミナー・シンポジウムを実施します。



※画像はイメージです。

日経読者を中心に多様な層16万人を動員します。また、新たな主催者企画として各種宣伝ツールで積極的に本ゾーンをPRします。

①日経グループのメディア活用



②アクティブな女性層の集客



③来場対象者へのアプローチ（ダイレクトメール、インターネット）



④SNS, クチコミルートの強化



⑤テレビ局などの取材誘致 ほか

※画像は昨年の掲載・放映実績です。

▶ スタндартスペース 図1

9小間以上の申込者のみ、独立小間でスペース渡し

◎1小間・・・3m×3m=9㎡

出展小間料 1小間あたり **¥300,000**(税抜き)

▶ スタндартブース 図2

1~8小間の申込者、背面・側面の壁面パネル付き

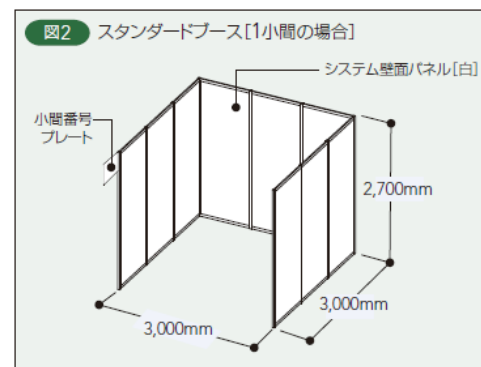
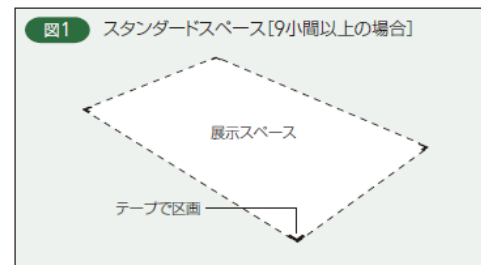
◎1小間・・・3m×3m=9㎡

出展小間料 1小間あたり **¥320,000**(税抜き)

◆隣接小間に接する壁面パネルを外すことはできません。

◆4小間でお申し込みの場合は、小間の形状(単列・複列のいずれか)をご選択ください。

単列: ■■■■ 複列: ■■ ■■ ※1~3小間及び5小間は単列、
6小間以上は複列となります。



■ 詳細

エコプロダクツ展の特長や展示会構成、出展費用などの詳細は別添「エコプロダクツ2015出展のご案内」をご覧ください。

■ お申し込み

ウェブサイト「エコプロダクツ2015」(<http://www.eco-pro.com>) 内の出展申し込みページにアクセスし、案内に従って出展内容を入力し、お申し込みください。その際、展示エリアは「水素社会」ゾーンをお選びください。

申込締切日：7月17日（金）

日本経済新聞社 文化事業局 イベント事業部
エコプロダクツ2015 主催者事務局
〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7
TEL.03-6256-7355 FAX.03-6256-7844
E-mail join@eco-pro.com